

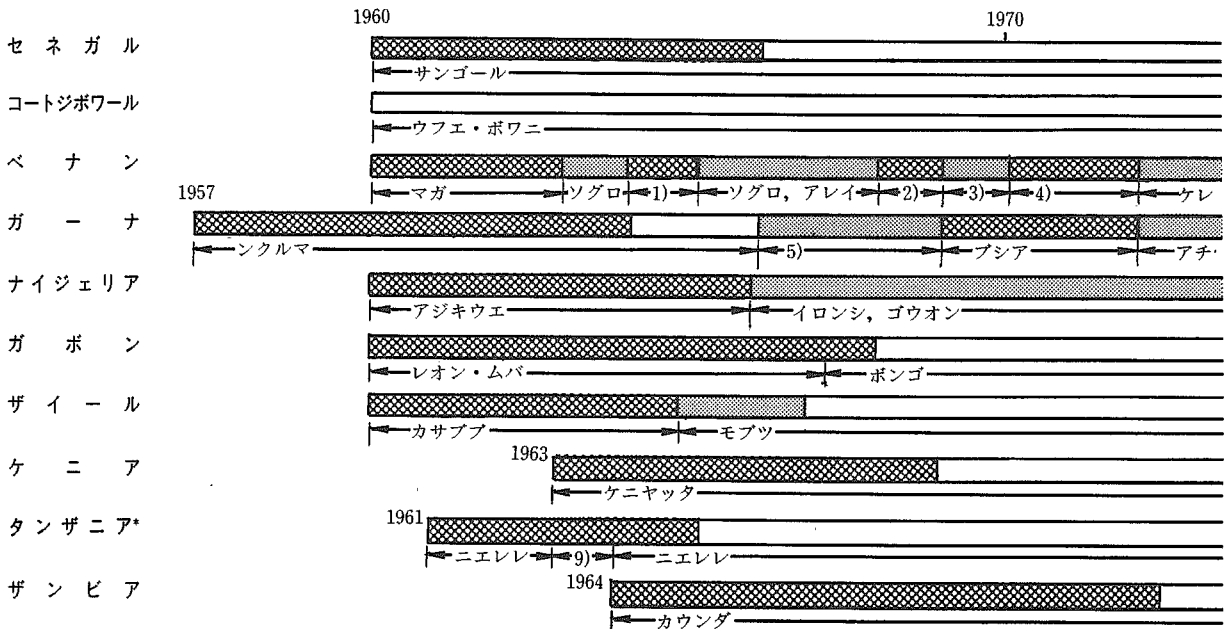
## 図解：(小特集 民主化への胎動?)

権利	Copyrights 日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アフリカレポート
発行年	1990-09
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00008643">http://hdl.handle.net/2344/00008643</a>

図解：最近のアフリカ「民主化」への動き



アフリカ諸国の政権



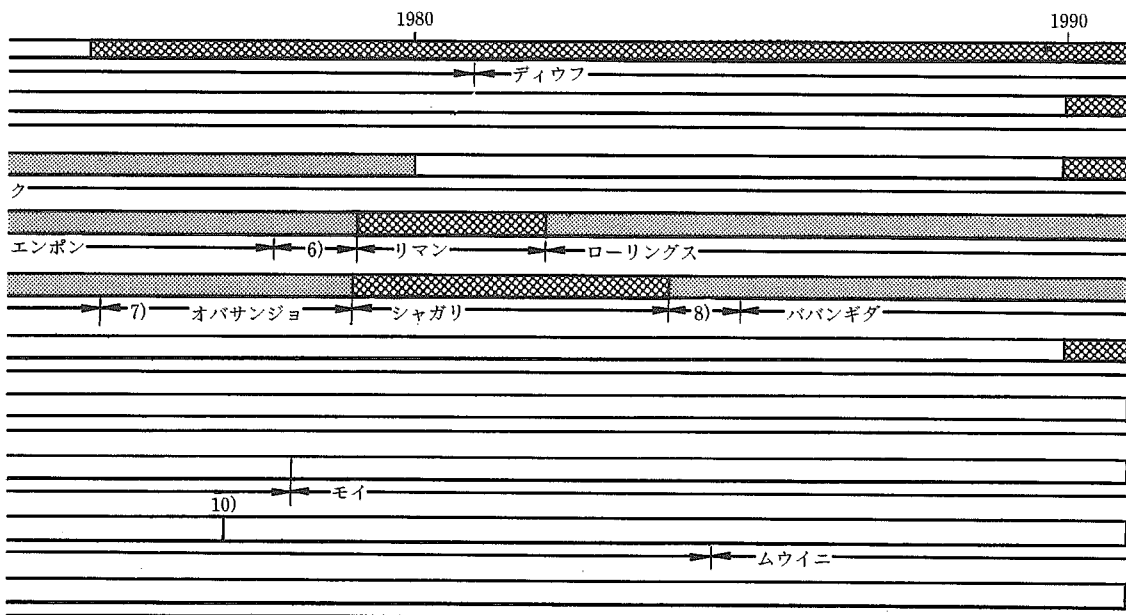
1) アビティ, ユンガ 2) ザンスー 3) ド・スーザ 4) マガ, アホマデグベ 5) アンクラ, ザンジバルはサルタン, カルメ 10) TANU (本島), ASP (ザンジバル島) 合併→ CCP

(注) \* タンガニーカ (1961年独立) とザンジバル (1963年独立) は、1964年に連合して、タンザニア

セネガル	(1990年3月)	内閣改造。閣僚数32名から21名に減少。
コートジボワール	(1990年4月)	複数政党制が決定し、8月現在26政党が公認される。
ニジェール	(1990年6月)	複数政党制に移行のための憲法改正準備開始。
ベナン	(1989年12月)	マルクス・レーニン主義訣別宣言。
ナイジェリア	(1990年2月)	国民結集全国会議、1年後複数政党制による総選挙実施を決定。92年の民政移管にむけてのプログラム実施中。
カメルーン	(1990年6月)	政治の自由化措置発表(英語圏からの野党設立の動きを認める。報道の自由を保証。人権委員会を設置する)。
コンゴ	(1990年7月)	PCT(コンゴ労働党)中央委員会、91年に複数政党制へ向けての法制度整備を言明。マルクス・レーニン主義を放棄。
ガボン	(1990年5月)	複数政党制に関する憲法改正を採択。
ザイール	(1990年4月)	第三共和制への移行を宣言。1年後に複数政党制へ移行の予定、野党指導者の軟禁を解除するとともに、野党を公認する。
ソマリア	(1990年7月)	複数政党制による初の総選挙を91年2月に実施予定。
スーダン	(1989年6月)	軍事クーデターにより、86年4月よりの民政から軍政にかわる。
ケニア	(1990年7月)	複数政党制の導入要求のデモが各地で発生。
タンザニア	(1990年2月)	CCM議長ニエレレ前大統領、複数政党制の可能性示唆。
モザンビーク	(1989年6月)	政策および綱領中の「マルクス・レーニン主義前衛党」、「階級闘争」などの文字を削除。
ザンビア	(1990年6月)	複数政党制採用に関する国民投票を90年10月に実施予定。
	(1990年7月)	国民投票を91年8月に延期すると発表。
南アフリカ	(1990年6月)	ANC, PAC, 南アフリカ共産党合法化。マンデラ釈放。

## 交代と政治体制の変化

文民複数政党制
  文民一党制
  軍事政権



アフリファ 6) アクスオ, ローリングス 7) ムハマド 8) プハリ 9) タンガニーカはニエレレ,

連合共和国となる。